

令和6年度第2回 国立研究開発法人森林研究・整備機構契約監視委員会概要

1 開催日時	令和6年12月18日（水）13:30～15:50
2 場所	森林総合研究所特別会議室及び各センターTV 会議室
3 出席者	・福岡委員長、中谷委員、高橋委員 ・森林総合研究所、林木育種センター、森林整備センター、森林保険センター契約担当者等
4 審議事項	(1) 令和6年度上半期における契約状況 (2) 令和5年度下半期及び令和6年度上半期契約の随意契約及び一者応札・応募案件 (3) 令和5年度下半期及び令和6年度上半期契約の2ヶ年連続の一者応札・応募案件 (4) 令和6年度上半期の競争性のない新規随意契約案件 (5) 特例随意契約にかかる事後確認（令和6年度上半期契約分）及び次年度に向けた事前承認にかかる審議
5 概 要	審議事項について事務局から説明後、質疑が行われた。主な内容は以下のとおりであった。 (1) 令和6年度上半期における契約状況 令和6年度上半期における契約状況について、令和5年度上半期の実績と比較しつつ説明を行い、委員からの質問に対する説明及び回答を行った。 委員からは、主に前年度に比して増加した1者応札の要因などの質問があったが、特段の問題はないものとする結論となった。 (2) 令和5年度下半期及び令和6年度上半期契約の随意契約及び一者応札・応募案件 随意契約及び一者応札・応募案件のうち委員から事前に質問のあった27件について、説明及び回答を行った。 委員からは、特段の問題はないものの、落札率が大きくなる案件が続くような場合の予定価格積算方法を別の考え方で検討してみてもは如何かとの意見があった。 (3) 令和5年度下半期及び令和6年度上半期契約の2ヶ年連続の一者応札・応募案件 令和5年度下半期及び令和6年度上半期に契約された2ヶ年連続の1者応札・応募案件35件について、改善の取組内容等の説明を行い、委員からの質問に対する説明及び回答を行った。 委員からは、特段の問題はないものの、一般的な入札案件については、一者応札が長く続くことは不正の温床になり得ることから、競争性が担保されるよう少しずつでも努力願いたいとの意見があった。 (4) 令和6年度上半期の競争性のない新規随意契約案件 対象案件なし。 (5) 特例随意契約にかかる事後確認（令和6年度上半期契約分）及び次年度に向けた事前承認にかかる審議 事後確認すべき対象期間内に契約に至った案件は存在せず、事後確認にかかる審議はなし。 また、次年度に向けた事前承認については、令和6年8月の制度導入状況や現在までの実施状況について担当から説明を行い、その状況をもって審議がなされた。 委員から、次年度委員会での審議資料として、研究開発に直接関係する調達案件であるか否かを判断するための検討資料と、見積参加者が一者の場合の値引き交渉状況と落札額への影響について整理票へ付記するよう意見があった。

以上の意見も踏まえて、次年度に向けた事前承認にかかる審議については、特段の問題はないものとして承認された。

- 6 審議結果の取りまとめ
審議事項はすべて妥当であるとされた。